

事業名称	通信制・定時制高校学校説明会事業
団体名・代表者	特定非営利活動法人コムサロン二十一 理事 前川裕司
協働の相手方	姫路市教育委員会 学校指導課・育成支援課

目的	不登校により進路選択に悩む本人や保護者、高校入学後に転学を検討している本人や保護者を対象に、公立の通信制・定時制高校の合同学校説明会を開催することで情報収集の場を提供し、本人や保護者が納得して進路選択することができる。
内容	兵庫県立の定時制・多部制・通信制高校等に出展いただき、学校毎のブースを設けて、各学校の特色を参加者に直接伝える。 参加した本人やその保護者は大切な進路選びの情報を得て、納得した進路選択へつなげる。
事業経過	兵庫県立の定時制・多部制・通信制高校及び県立施設に出展を依頼。 不登校傾向の生徒と働いている保護者を想定し、参加しやすい日程を姫路市教育委員会と協議し、開催日時を決定した。 出展校の理解を得、参加者が進路選択の際に知りたい学校情報を一覧にまとめ提供した。
事業の効果	姫路市教育委員会と協働したことで、姫路市立中学校にもれなく広報ができた。 定時制・多部制・通信制高校を正しく理解してもらえた。 保護者にとっては、個別対応での相談が出来、進路選択の幅が広がった。 参加対象者を中3生徒と限定しなかった。中1・2の不登校傾向の生徒や保護者にとって、卒業時の不安を和らげることができた。
今後の展望	高等学校進学に向けては、オープンハイスクール等の取組が実施されている。「百聞は一見に如かず」という言葉のとおり、実際に学校を訪れる機会は大変有意義であるが、不登校生徒やその保護者にはハードルが高い。合同学校説明会は心理的・身体的負担が少なく、安心して進路情報を得られる貴重な場となった。 また、進路に関する情報が届きにくい層に対して、一度に複数校の情報を収集できる機会を提供することは極めて重要であり、教育委員会との協働はその点において大きな意義を持った。生徒が自らの未来を描き、主体的に進路選択ができるよう、次年度も引き続き合同学校説明会を実施し支援に努めたい。

【実施団体の事業総括・感想等】

令和 6 年度、不登校対策協議会への参加や市内の中学校・高等学校高校への訪問を通じて、定時制・通信制高校に関する情報が十分に行き届いていないことや、学校選択におけるミスマッチが生じている現状を把握しました。これらの課題を受けて提案型協働事業の企画に至りました。

当日は、想定を上回る多くの方々にご来場いただき、定時制・通信制高校に対する高いニーズを実感することができました。本説明会は、進学を検討する生徒・保護者にとって情報収集の場として、高校にとっては直接情報を届ける機会として、そして私たち支援機関にとっては将来困ったときに頼っていただける存在として認知していただく場として、それぞれの立場に置いて大変有意義なものとなりました。ご協力いただいた関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。令和 8 年度も開催できるよう知恵を絞って参ります。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

定時制高校・通信制高校であっても、パンフレットやホームページから各高等学校の特徴や支援体制等を詳しく知ることは難しい。また、学校に行きづらい生徒にとって、多くの生徒と一緒に学校説明会等に参加することは心理的なハードルが高い。今回の事業は、生徒たちが個別に各校の担当者と相談できたことにより、進路に不安を抱える不登校傾向の中学生及びその保護者にとって、非常に有益な場となったと考える。